

令和2年度

# 湖南省教育委員会事業評価

湖南省教育委員会

# 評価報告書

令和2年度

湖南省教育委員会評価委員会

## 令和2年度 湖南省教育委員会評価委員会の実施について

本委員会では、湖南省教育委員会事業評価について、今日までの評価項目全体を評価するのではなく、毎年度実施する所管課の最終評価を踏まえ、継続的に目標を達成している事業などについては、所管課の評価を尊重し、今後、市の教育においてさらなる取組が必要な重要項目に対し、委員会として評価を行うこととした。

令和2年度は、別紙に掲げる主要4事業を対象とし、各委員からの意見をもとに、総評および各項目に対する講評を行った。

今後は、本報告書に記載してある評価をもとに令和3年度以降の取組の改善を進められ、さらなる本市の教育の向上を願うものである。

令和3年5月11日

湖南省教育委員会評価委員会

## 外部評価実施内容

- ①日 時 令和2年10月27日（火）午後1時30分から  
場 所 湖南省役所西庁舎 3階大会議室
- ②日 時 令和3年5月11日（火）午前10時から  
場 所 湖南省役所西庁舎 3階大会議室

### 評価体制

外部評価委員（評価委員会委員）

横 山 幸 司 （委員長）  
中 村 善 司 （副委員長）  
平 野 龍 雲  
平 地 幸 美  
小 島 妙 子

### 評価対象事業数

4事業（令和2年度最終評価シート58項目の内）

### 対象事業

- 資料No.20（学校教育課）
  - ・毎日朝食を食べる児童生徒の割合
- 資料No.24（学校教育課）
  - ・不登校児童生徒の関係機関との連携率
- 資料No.26（図書館）
  - ・乳幼児向け絵本コーナーの設置
- 資料No.51（教育総務課）
  - ・学習用コンピューター配備数

### 【総 評（全体）】

各事業の評価については、各委員より述べられた意見がすべてであり、この評価委員会での指摘事項をいかに事業に生かしていくか、令和3年度に行われる事業で改善・検討を求めたい。

今回、教育委員会事業評価の基となっている第2期湖南省教育振興プランの計画期間が令和2年度にスタートしたことから、初めての評価となった。

まず、一般行政の職員であっても成果指標の設定が不慣れなため、適切な指標とはいえないものが多く散見された。成果指標設定の要諦は、この事業は、何をもって成功とするか、何をもって到達点とするか、という一点だけである。

評価委員会に見せるために成果指標を設定しているわけではない。間違いの多くは分母の設定にある。対象者が何人いて、何人が実行したら成功と言えるのか、例えば、図書館の来館者数であっても、単にたくさん来館すればいいのか、ある対象とする層に来館してもらうことを目標とするのかで指標も変わってくる。当該事業の対象すなわち分母を意識して、指標を設定すれば、いい成果指標が設定できるのではないかと考える。

令和3年度も引き続き、「～学校・家庭・地域が連携し、それぞれが責任を持つ教育の創造～子どもの育つ力を信じ、夢と志を育て未来を拓く「生きる力」の育成」の実現に向けて事業を推進されることを希望し総評とする。

## 【講評（事業別）】

### ○資料No.20（学校教育課）

- ・毎日朝食を食べる児童生徒の割合

### 【コメント】

- ・県全体をみると、何パーセントかは夕食も含めて食事を食べたくても食べられていない子どもがいる。子ども食堂の話もしたが、困っている子どもたちを救うために学校教育の中で制度としてできなくても準制度として湖南省独自の取組を検討されたい。
- ・数値目標が小学校5年、中学校2年でそれぞれ平成30年度比0.5%増というのは、各学年において市全体で2.5人増にすぎないため、目標値について再検討されたい。教育と福祉が連携することは良いことである。今後も教育と福祉の連携を推進されたい。
- ・朝食を食べることが落ち着いて授業を受けられることにつながるが、朝食を食べない子どもが増えているのではないか。中学校の家庭科の授業で「お米を研ごう」と言っても通じない子がある。規則正しい生活、家族で食事をするということについて社会教育がどれだけ家庭に入っていけるかが課題である。
- ・食事をとることの大切さを子どもが感じることができるのは、やはり家庭・学校だろう。朝食摂取の様子や状況を把握するため学校でアンケートを取ったり日常の姿からつかんだりすることはできる。今まで得られた結果に様々な取組（指導・支援）を栄養教諭・養護教諭・担任等が保護者や家庭・地域に向けて進めてきたと思うが、特に中学生においては結果として効果が弱かった。そこで感じたのは生活環境（家庭での食習慣）のあり方を今一度振り返る必要があるのではということである。学校での食育指導等はもちろん、家庭・地域において大人が子どもに対して食事についての関りが難しい現状がある。いろいろな家庭環境があり、一律にはいかないが、学校・生涯学習・福祉等、関係部局がともに連携し、具体的で地道な行動を進められたい。食べることは、本来楽しみなことである。朝食を食べることで、そこに会話があり、基本的な生活習慣の一步が育まれ、体力や正しい姿勢での学習にもつながる。まずは「朝ごはん食べたい。」「今日、朝ごはん食べてきてよかった。」そんな言葉が子どもの口から出てほしいと願う。

- ・乳幼児期からの検診や離乳食指導で、食べることの大切さを家族にも教えている。この教育が今後が続いていき、中学生になると自然と体が食事を欲していき、子どもを産んだ時にも食育体験が生かされていくというような指導をされたい。

○資料No.24（学校教育課）

- ・不登校児童生徒の関係機関との連携率

【コメント】

- ・不登校児童生徒の対応については、関係機関と100%連携して解決するものであるので、目標値について再検討されたい。
- ・家庭環境により子どもを取り巻く状況が違い、支援が難しい問題ではあるが、学校で子どもの権利等について学ぶ機会があることも必要ではないか。
- ・不登校の未然防止や再登校の促進には、学校内外の支援が必要なのは言うまでもない。子どもの個々のニーズにより様々な改善を図るため巡回相談・社会福祉士・スクールソーシャルワーカー等、関係機関との連携を図ることの大切さを改めて感じる場所である。一方、未然防止や早期発見に努めることがより大切だと考える。予測できる範囲での家庭支援や学校教育活動（学級経営・学級づくり）に努め、今後も子どもとの信頼関係を築かれたい。
- ・不登校はいじめだけでなく、家庭的な問題がある場合もある。原因を確認し、関係課・関係機関と連携して解決を図ることが大切である。

○資料No.26（図書館）

- ・乳幼児向け絵本コーナーの設置

【コメント】

- ・感染対策をしながら開館を続けられているので安心した。引き続き取り組まされたい。
- ・コロナ禍で図書館の真価が問われている。講演会・おはなし会が制限される

中でどのように貸出等をするかが大切である。

・「三つ子の魂百まで」という言葉もあるが、読み聞かせは0歳からスタートしたら良いと地域の人たちに話している。この事業は大変魅力的な取組である。

- ・本との出会いは子どもにとって新しい世界の連続。そのことが、本「活字の世界の愉しさ豊かさ」との出会いでもある。どうか楽しく興味ある時となるよう、他課と連携し、いろいろな機会を通じてよい出会いをお願いしたい。保護者の姿は子どもの鏡でもあるため、ひとりでも多くの保護者が本を手にとられるよう、またその良さを感じていただけるようにと願う。コロナ禍ではあるが、今後もできる手立てを探りながら引き続き尽力されたい。
- ・読書は習慣化するものなので、出会いが大切である。また、乳幼児は抱かれながら読んでもらうことで、温かさ、音、リズムを感じ、本の楽しさを知ることができる。今後も、読み聞かせや保護者への本の選びやすさなどの取組を大切にされたい。

○資料No.51（教育総務課）

- ・学習用コンピューター配備数

【コメント】

- ・学習用端末（タブレット）の一人一台整備については完了したが、教育環境整備としての機器の充足にとどまらず、教材資料の予算化や修繕等、今後の維持管理についてお願いしたい。また、研修機会の充実による教員のタブレットを使いこなす能力の向上や、学校現場においてどのように活用を図るかについても担当課や関係機関と連携しつつ、子どもの学習に役立つよう円滑に進められたい。



## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	1	主体的・対話的で深い学びの充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	人生100年時代を生き抜く力の育成
内容	学習指導要領や全国学力・学習状況調査の分析結果をふまえ、毎年「湖南省学ぶ力向上策」および「我が校の学ぶ力向上策」を作成し、授業改善や学校・学校集団づくりに取り組みます。また、中学校区ごとに「めざす子どもの姿」を共有し、中学校区連携を重視した学校教育を推進します。課題解決力・コミュニケーション力といった資質・能力の育成に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	各中学校区で設定した「めざす子どもの姿」に関するアンケートで強い肯定的な回答をした児童生徒の割合
実績値(平成30年度)	25.0%(各中学校区ごとの割合の平均)
数値目標(令和2年度)	27.0%(各中学校区ごとの割合の平均)
数値目標(令和6年度)	30.0%

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	各中学校の設定した「めざす子どもの姿」は以下のとおりです。 石部中学校区「話し合い活動の中でいろいろな意見を聞き、自分の考えを伝えている」33.7% 甲西中学校区「自分の考えを書くときには、資料や文章などから理由を見つけて書いている」26.4% 甲西北中学校区「授業では、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている」31.8% 日枝中学校区「授業では、仲間の思いや考えを聞き、自分の思いや考えを話している」29.7% 各中学校区ごとの割合の平均は30.4%、数値目標は達成していますが、今後、コロナウイルス感染症レベルが上がってしまうことがあると、対話等を伴う授業実施が困難になることが考えられます。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	各中学校の設定した「めざす子どもの姿」の結果は以下のとおりです。 石部中学校区「話し合い活動の中でいろいろな意見を聞き、自分の考えを伝えている」26.8%。甲西中学校区「自分の考えを書くときには、資料や文章などから理由を見つけて書いている」26.3%。甲西北中学校区「授業では、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている」34.6%。日枝中学校区「授業では、仲間の思いや考えを聞き、自分の思いや考えを話している」32.8%。各中学校区ごとの割合の平均は30.1%であり、数値目標を達成することができました。	A (B) C D
------------	---	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	2	キャリア教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	キャリア教育の推進
内容	<p>キャリア教育を効果的に展開していくためには、特別活動が学校教育全体で行うキャリア教育の要として位置付け、これからの学びや生き方を見直し、これまでの活動を振り返るなど、自己の将来や社会づくりにつなげていく学習活動を充実させることが重要です。</p> <p>そのために年間計画を見直し、小中学校のつながりが明確になるよう整理します。またその実施にあたっては、職場体験活動や社会人講話などの機会の確保に努めます。さらに職場体験活動などの固定的な活動だけに終わらないよう、地域の方とのふれあいや語らいを大切に、将来、児童生徒が社会のなかでの自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現させていくための資質・能力を育みます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	キャリア教育の視点からの年間計画の策定
実績値(平成30年度)	0校
数値目標(令和2年度)	2校
数値目標(令和6年度)	13校

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	9月30日現在、キャリア教育の視点からの年間計画2校提出済み。
------------	---------------------------------

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度からキャリアパスポートを全ての学年で使用することで系統立ててキャリア教育を行うことにつながっています。中学校のチャレンジウィークについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施ができませんでしたが、社会人の方を招いて講話を聴いて様々な職業について学習を深めるなどの取組を行い、卒業後の進路や個々の生き方を見つめなおす機会となりました。</p>	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	3	多文化共生教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	外国人児童生徒への学習支援
内容	さくら教室において、来日して間もない子どもに日本語指導や適応指導を行うとともに、必要に応じて教科などの指導を行って外国籍の子どもたちの学習権を保障します。 外国籍の子どもが多い学校に母語ができる人材を派遣したり、翻訳機器を配置することにより、子どもたちや保護者が安心して過ごせる教室環境をつくります。
具体施策	多文化共生の推進
内容	日本の伝統や文化を理解・継承していこうとする態度を養うとともに、外国の文化や考え方を理解して尊重する態度、異なる文化を持った人々とともに互いを認め合いながら生きていく力を育てます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	外国籍児童生徒支援、保護者対応のための翻訳機器の配置
実績値(平成30年度)	0台
数値目標(令和2年度)	19台
数値目標(令和6年度)	26台

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	9月30日現在、児童翻訳機(ポケットーク)を19台小中学校に配置済み。 小学校2校には、オンライン通訳のできるタブレットを配置済み。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	自動翻訳機(ポケットーク)を活用して外国籍児童生徒とコミュニケーションをとったり、日本語の学習支援に活用したりすることができました。保護者対応でも自動翻訳機(ポケットーク)やオンライン通訳のできるタブレットを活用して情報の共有をしたり、学校からの伝えたいことを簡潔に伝えたりすることができました。	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	4	主権者教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	主権者教育の推進
内容	本市では、政治の仕組みについて必要な知識を学ぶだけでなく、主権者として社会のなかで自立し、他者と連携・協働をしながら、社会を生き抜く力や社会の構成員の一員として主体的に地域課題を解決する力を育てます。また、高校生になってからの主権者教育だけではなく、発達段階に応じて、小学校の段階から主権者教育に取り組みます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	各小・中学校の各教科や特別活動における学びと地域へつなげる取組 (地域行事への参加・参画)
実績値(平成30年度)	13事例
数値目標(令和2年度)	13事例
数値目標(令和6年度)	26事例

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	各小・中学校の各教科や特別活動を通して実施している途中ですが、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、地域行事への参加や参画については、3密を避ける観点から、実施が困難な状況です。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度も主権者教育を意識した取組を実施し、全ての小中学校から合計13の事例報告を受けました。内容は、各教科や特別活動における学びを地域へつなげる取組です。具体的には、総合的な学習の時間にウツクシマツ愛護活動事業を行ったり、「いしべのまちに『とびだし坊や』を設置しようプロジェクト」等の取組がありました。中学生は、地域の行事に参加するだけでなく、自ら企画立案する姿がありました。	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

## 2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組めます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝石箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	「授業の湖南省スタイル」による授業実践校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>「湖南省学力向上策」を策定したうえで、各校の「我が校の学力向上策」を定め、取組を進めています。</p> <p>教師アンケートから「授業の湖南省スタイル」による授業実践を意識し、行うことができています。しかし、「ふだんの授業で、子どもたちが交流する時間が設定できている」については、新型コロナウイルス感染症に伴う予防対策の観点から、昨年度より、取組が遅れている。9月校長会にて、授業の工夫を行う手立てを示したうえで、今後、様々な交流の在り方を研究推進する予定です。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>「授業の湖南省スタイル」による授業実践について、12月の教師アンケートでは肯定的な回答はどの項目も7割以上でした。「ふだんの授業で、子どもたちが交流する時間が設定できている」についても、7月は肯定的な回答が66.3%であったが、12月は83.3%と向上しました。コロナ禍ではあったが、各校が創意工夫しながら様々な交流の在り方を工夫したことが結果として表れました。</p>	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

## 2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	学校図書館を活用した授業実績(年間)
実績値(平成30年度)	小学校801回 中学校187回
数値目標(令和2年度)	通常学級数×8回 通常学級数×5回
数値目標(令和6年度)	通常学級数×8回 通常学級数×5回



4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>全ての小中学校で「学校図書館の機能を活用した授業」が実施されています。授業の中での学校司書の果たす役割について研修会を実施することで、学校司書の授業への参画が増えています。また、研修会ではブックトーク等の授業支援の在り方を学び合ったり、学校司書間で情報交換をしたりすることを通して専門性を高めています。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>小学校 通常学級数 106 <math>106 \times 8 = 848</math> 目標値 848回 令和2年度の小学校における学校図書館を活用した授業実績 <b>857回</b></p> <p>中学校 通常学級数 42 <math>42 \times 5 = 210</math> 目標値 210回 令和2年度の中学校における学校図書館を活用した授業実績 <b>279回</b></p> <p>学校司書が図書館教育主任や担任の教諭と連携し、積極的に授業に参画できました。ブックトークなど専門性を生かした授業支援を行うことができました。</p>	<p>(A) B C D</p>
------------	---	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

## 2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝石箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	「ことばの宝石箱」を活用した暗唱などに取り組んだ学校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校
数値目標(令和2年度)	全小学校9校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>コロナ対応で国語主任会を開くことができませんでしたが、研究所からの送付資料の中に「ことばの宝石箱」の活用について記載し、暗唱や音読などへの取組の意識を高められるようにしました。暗唱を達成した子どもに「こころの賞状」を活用して表彰することにより、子どもが意欲的に取り組めるよう、各学校長に「こころの賞状」を配付し活用を呼びかけました。</p>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>市内全小学校9校で「ことばの宝石箱」の活用ができました。暗唱での取組が9校中7校、音読での取組が9校中8校、詩や俳句づくりでの取組が9校中7校、その他書写の学習等でも活用している学校があります。次年度、継続した取組で成果を上げている学校について、国語主任会や校長会で取り上げていきます。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
-------------------	--	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

## 2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	「湖南省の小さな詩人たち事業」の作品作りに取り組んだ学校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>「湖南省の小さな詩人たち事業」では、現在各校で作品づくりに取り組んでいます。11月12日に二次審査会、11月19日に最終審査会、令和3年1月21日に表彰式を予定しています。</p>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>市内全小中学校13校で取り組めた。日頃の学習を生かし、詩や五・七・五部門に応募する作品づくりを行うことで表現力を鍛えることができました。 選者である野呂先生、平賀先生から「今年度もよい作品がたくさんあった」と講評をいただきました。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
-------------------	--	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	2	育ちと学びをつなぐ教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保することで、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	小・中学校の連携
内容	各中学校区で授業参観や連絡会などの開催、出前授業や合同授業などを通して、情報交換や交流を行い、子どもの連続した育ちと学びを支援できるよう、さらなる連携を図ります。

## 3. 数値目標

内容(指標)	小・中学校における相互授業参観・授業研究
実績値(平成30年度)	8回
数値目標(令和2年度)	8回
数値目標(令和6年度)	12回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、相互授業参観・授業研究を例年通り行うことは難しい状況です。その中で、6月には学力向上アドバイザー学校訪問兼学びの礎ネットワーク推進事業において、石部中学校区の小中学校で相互参観の機会をもつことができました。                  ・幼児期から就学期へのスムーズな移行につなげるため、ことばの教室の園訪問、就学支援に係る園訪問等を実施し、園児の観察や支援についての助言を行うなど、連携を図りました。</p>
-------------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>年5回実施                  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため相互授業参観・授業研究を予定通り行うことは難しかったが、人数を制限して授業参観を行うなど、工夫した取組を進めました。来年度も感染拡大状況に応じて、工夫した取組をしていきます。                  ・小学校1年生と5歳児の担任が就学に向けての話し合いを持つなど、校区によって連携のための工夫した取組を進めました。</p>	<p>A B <b>C</b> D</p>
-------------------	---	-----------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	3	家庭学習支援システムの構築

## 2. 具体施策の概要

具体施策	家庭学習支援システムの構築
内容	子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることがないように、国よりも先取的な「湖南省発達支援システム」を参考に、教育委員会部局・市長部局・関係機関が有機的に関連しあう、「湖南省家庭学習支援システム」を構築し推進します。 少年センター・あすくる湖南の業務内容にアウトリーチ型学習支援を加え、少年センターが「家庭学習支援システム」の窓口として対象者を把握するとともに、教育委員会が子どもたちの家庭学習支援に積極的に関わります。

## 3. 数値目標

内容(指標)	らくらく勉強会の実施
実績値(平成30年度)	未実施
数値目標(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	長期の休校や夏休みの短縮が影響して、開始時期が学校によってばらつきました。6月から実施できたのは小学校1校・中学校2校、7月からの実施は小学校2校・中学校1校、8月からの実施は、中学校1校。9月から実施しているのは、小学校4校となっています。その他の2校の小学校は9月以降の実施予定。 なお、8月末までの実施回数は58回。延べ1,117名が勉強会に参加しています。
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	国・県補助事業である「地域学校協働活動推進事業」に地域学校協働本部が核となって地域に開かれ、地域とともにある学校づくりに取り組み成果をあげました。年度前半は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために事業に対する制限がありました。事業実施を前提にした対策の工夫により後半は概ね計画に近い事業を実施しました。ただ、高齢者が関わる事業については中止も含め慎重な対応をした。概ね計画通り目標通りの事業を実施しました。	A (B) C D
------------	---	-----------



## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	1	道徳力を身につけた子どもの育成

## 2. 具体施策の概要

具体施策	考え、対話し、議論する道徳の推進
内容	<p>「心きりり☆こなんっ子」を合い言葉に「心ひらく(授業づくり)」、「心ひろがる(啓発活動)」、「心ひびきあう(地域連携)」の3つの柱を軸として、子どもたちの自尊感情を育む取組を進めています。「心ひらく」では、「授業の湖南省スタイル」を示し、道徳の時間の授業改善を進めます。また、「心ひろがる」では、校内掲示板や学校だよりで取組を発信するなど、家庭と連携した取組を進めます。「心ひびきあう」では、地域の人々に学校に来ていただくだけでなく、子どもが地域の行事に参画する取組を行うことで、道徳的実践力を培う場を保障します。</p> <p>また、子どもと地域とのつながりを図ります。</p> <p>平成26年度に刊行した「伝えたい故郷の話～教育・郷土資料集～」をはじめ、湖南省を思い、力を尽くしてくださった「人」や「こと」を紹介した本・資料を授業で活用することで、人や地域を大切に思うあたたかい心や生き方を学びます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の受託(年2校)
実績値(平成30年度)	受託
数値目標(令和2年度)	受託
数値目標(令和6年度)	継続

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」が中止となりました。事業は中止となりましたが、推進校では、道徳の校内研究を進めており、成果を市内に広める取組をしています。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度は、「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」が中止となりました。推進校の授業についてホームページ上に載せたり、校長会で「伝えたい故郷の話～心の教育・郷土資料集～」を活用した授業づくりについて呼びかけたり等ではできましたが、取組を発信し、市内で道徳教育を推進することが難しかったです。</p> <p>次年度は、「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」が実施の方向なので、推進校を中心に、道徳の時間の授業改善を進め、取組を市内全体に発信できるようにしていきます。また、今年度は実施できなかった市の「こころの教育推進協議会」を開催し、地域代表者や学識経験者の意見も取り入れながら、市内の道徳教育を推進します。</p>	A B <b>C</b> D
------------	---	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	2	多様性を認め合う教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	湖南省人権教育ネット推進事業の推進
内容	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。 また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性的マイノリティ※などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。
具体施策	湖南省学校・園人権教育基底プランの実施
内容	人権教育基底プランに基づく保育・授業の実践を通して、発達段階に応じた系統的な人権保育・教育に取り組みます。 また、基底プラン改訂委員会を組織し、現状の人権課題に沿った人権保育・教育を行えるよう、基底プランの見直し・改訂を行います。

## 3. 数値目標

内容(指標)	中学校区ごとの主任など連絡会議の開催回数
実績値(平成30年度)	各9回
数値目標(令和2年度)	各9回
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	各学区4回開催した。(うち1回は紙上での会議)コロナ禍の中で開催が難しいが、メール等のやり取りで事業の進捗状況等を確認しています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	各学区6回開催しました(うち2回は紙上での会議)。回数減となったが、電話やメール等のやり取りで各校園所の取組を推進できました。来年度も会議開催にとらわれず取組や連携の推進を進めていきます。	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	2	多様性を認め合う教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	湖南省人権教育ネット推進事業の推進
内容	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。 また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性的マイノリティ※などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。
具体施策	湖南省学校・園人権教育基底プランの実施
内容	人権教育基底プランに基づく保育・授業の実践を通して、発達段階に応じた系統的な人権保育・教育に取り組みます。 また、基底プラン改訂委員会を組織し、現状の人権課題に沿った人権保育・教育を行えるよう、基底プランの見直し・改訂を行います。

## 3. 数値目標

内容(指標)	人権教育基底プランに基づく保育・授業研究会の実施
実績値(平成30年度)	公立保育園・こども園 2年に1回 各校 年1回
数値目標(令和2年度)	公立保育園・こども園 2年に1回 各校 年1回
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	公立こども園1園、小学校1校実施済み。コロナ禍の中で他校からの参観は控えていますが、各校開催予定。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施しました。他校からの参観は控えた分、校園内での研究協議が深まり教職員の人権意識の向上につながりました。	A (B) C D
------------	---	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、おはなし会や人形劇、ブックトークなど、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を支援するとともに、乳幼児健診などの機会を活用した幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	学校図書館の児童生徒一人あたりの年間貸出冊数
実績値(平成30年度)	小学校 30.5冊 中学校 5.1冊
数値目標(令和2年度)	小学校 31.0冊 中学校 6.0冊
数値目標(令和6年度)	小学校 31.0冊 中学校 6.0冊

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	4月～5月にかけて臨時休業であったこともあり、例年よりも各校の貸出冊数が伸びていません。また、休み時間の図書室利用について、コロナ対応で密を避けるために学年の割り当てを決めていて、そのような学校では、図書室を利用する児童生徒が少なく、貸出冊数が伸びない現状があります。密を避ける工夫を施して、図書室を活用し、読書推進していけるように引き続き各校に呼びかけていきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	学校図書館の児童生徒一人あたりの年間貸出冊数が小学校は38.6冊で前年度より6.1冊増えました。(前年度32.5冊) 中学校は5.2冊で数値目標を達成できませんでしたが、前年度より0.3冊増えました。(前年度4.9冊)	Ⓐ B C D
------------	--	---------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課・図書館・学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、おはなし会や人形劇、ブックトークなど、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を支援するとともに、乳幼児健診などの機会を活用した幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	市立図書館の児童図書の12才以下の子ども一人あたりの年間貸出冊数
実績値(平成30年度)	11.7冊
数値目標(令和2年度)	10.4冊(昨年度実績×0.9)
数値目標(令和6年度)	16.1冊



4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>6.1冊                  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館、その後の限定的なサービス提供下の実績としては、想定値を上回った。このままの推移としても、通年で12冊を超えることとなり今年度の数値目標は達成できる可能性が高いと思われる。ブックスタート事業の実質停止、お話し会の中止など、まだまだ児童の読書振興を進めていく環境は厳しいが、移動図書館車のこども園、保育園巡回の拡大等、未就学年齢の子ども達の終焉率が高くなっている中で、今年度後半も、園を通じた振興策を充実させていきたい。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>13.1冊                  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館、その後の限定的なサービス提供下の実績としては、想定値を上回りました。今年度の数値目標は達成できましたが、「コロナ」の状況下、令和6年に目標値を達成できるかは不透明。ブックスタート事業の実質停止、お話し会の中止など、まだまだ児童の読書振興を進めていく環境は厳しいですが、移動図書館車のこども園、保育園巡回の拡大等、未就学年齢の子ども達の就園率が高くなっている中で、今後も、園を通じた振興策を充実させていきます。</p>	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課・図書館・学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、おはなし会や人形劇、ブックトークなど、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を支援するとともに、乳幼児健診などの機会を活用した幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	おはなし会などの年間開催数
実績値(平成30年度)	72回
数値目標(令和2年度)	12回(図書館主催分10月～3月実施のみ。新型コロナウイルスの影響により、年度前半及び、後半図書館主催分以外の実施は難しいため)
数値目標(令和6年度)	75回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等がある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>0回                  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は甲西図書館、石部図書館とも、職員実施のお話し会もボランティアによるお話し会も全く実施していない。                  10月23日、甲西図書館において、職員によるお話し会を、半年ぶりに、試験的に実施する予定。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>6回                  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～9月には、甲西図書館、石部図書館とも、職員実施のお話し会もボランティアによるお話し会も全く実施しませんでした。10月以降、甲西図書館において、事前予約制で3組限定という制約付きではありましたが、職員によるお話し会は再開しました。</p>	A B <b>C</b> D
------------	---	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	1	健康教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	立腰の取組
内容	心身の健康の保持増進を図るために、立腰の必要な知識を習得し、健康・安全を適切に自主管理する態度を育てます。子どもの時期から規則正しい生活を身につけることにより、病気から身体を守り、心身ともに健康な体を養うとともに、学級のあらゆる場面で「立腰」の指導に取り組みます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	授業や部活動などの活動時間を通して立腰指導を行う実施校数
実績値(平成30年度)	0校
数値目標(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	今年度は、「立腰」を健康教育に位置付けて取り組みを推進しました。足の裏を床につけて、しっかり背筋を伸ばして座るよう心がけることで、生涯を通して健康に過ごせる丈夫な体づくりとともに、集中力を持続させて学習にも好影響を与える効果を期待しています。6月の人事訪問において、各教室で学習に取り組む児童生徒の姿勢を参観したが、教室内に「立腰」のイラストを掲示し、授業の中でも教員が児童生徒に対して姿勢についてタイミングよく注意喚起しながら児童生徒の集中力を持続させる工夫をしている教室がある一方で、「立腰」について十分に児童生徒に意識付けが十分でない教室も少なからず見受けられた。教育委員会として「授業の湖南省スタイル0」(座る姿勢、書く姿勢、鉛筆の持ち方)の意識付けを担当個人の指導力の差とすることなく、学校全体の取組に広げていくよう各校へ指導・支援していきます。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	6月の人事訪問を終え、「立腰」の取組について、校長会などで再度確認し、各校における取組の意識付けを高めるよう指導。今後も各校における取組の意識付けを十分に行いながら、教育委員会として「授業の湖南省スタイル0」(座る姿勢、書く姿勢、鉛筆の持ち方)の意識付けを担当個人の指導力の差とすることなく、学校全体の取組に広げていくよう各校へ指導・支援を進めていきます。	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	2	子どもの体力向上への取組

## 2. 具体施策の概要

具体施策	学校体育の充実
内容	<p>学力向上プロジェクトにおいて体育科の授業についても授業改善を行います。「授業のポイント5」、「授業の湖南省スタイル」を活用し、子どもが主体となる授業を展開します。</p> <p>また、始業前・中休み・昼休み・放課後・下校後など、教科外の時間において継続して運動遊びを行うことにより、子どもたちに運動遊びの習慣を身につけさせ、体力の向上を図ります。</p> <p>子どもを運動好きにすることをめざして、小学校における「健やかタイム」を推奨するなど、運動やスポーツを楽しむ、心身ともに健康な子どもの育成に努めます。</p>
具体施策	子どものスポーツ機会の充実
内容	<p>子どもの体力低下や運動・スポーツをする機会が減少する中、幼児期の運動においては遊びを通じて楽しみながら様々な筋肉や神経を使って体を動かすことが、その後の青年期における運動能力に良い影響を与えます。幼児期の運動や遊びを体験できる機会を充実させる取組に努めるとともに、生涯における豊かなスポーツライフを実現するため地域、スポーツ団体と連携し、健康づくりに努めます。</p> <p>また、湖南省ちよいスポクラブでは、複数の種目のスポーツが経験できる地域のスポーツクラブとして、子どもの運動離れの解消に大きな役割を果たしており、継続して加入促進に取り組みます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	小学生の一週間の運動スポーツ実施時間が420分以上の割合(授業を除く)
実績値(平成30年度)	男子51.6% 女子26.9%
数値目標(令和2年度)	男子51.6% 女子26.9%
数値目標(令和6年度)	男子53.2% 女子28.8%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>新型コロナウイルス感染対策により学校が休校となり、スポーツ少年団や地域総合型スポーツクラブ等の活動も中止となっていました。コロナ過でも3密を回避しながらできる運動を徐々に再開しています。各団体等と連携し、感染防止に配慮しながら活動を行っています。事業参加者の増加を図るため、広報こなんへやKONAN Sportsへの団員・会員募集記事の掲載を行っています。</p>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>男子48.9% 女子30.7%(最新調査 31年度実績)                  新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況を鑑み、3密回避・消毒対策を行いながら、スポーツ少年団や地域総合型スポーツクラブ等の活動を行っています。事業参加者の増加を図るため、広報こなんへやKONAN Sports、市民大学への団員・会員募集記事、体操教室等の掲載を行い、参加者増加に努めました。</p>	<p>A B <b>C</b> D</p>
-------------------	--	-----------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	3	学校保健の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	学校における保健衛生の充実
内容	<p>子どもの生活習慣の改善、向上を図るためには、正しい知識や望ましい生活リズムを身につけさせることが必要であり、家庭や地域と連携した取組を進めます。</p> <p>また、アレルギー疾患、喫煙、薬物乱用などに関する課題や、いじめ・不登校などのメンタルヘルスの課題に対応するため、関係各課との連携を図り、保健衛生の充実を図ります。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	ブラッシング指導による歯磨きの習慣化とともに、小中学生へのフッ化物洗口の取組
実績値(平成30年度)	0校
数値目標(令和2年度)	全小学校9校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	令和2年度の予定は、5月頃から開始することになっていました。しかしながら新型コロナウイルス感染症にかかる対応で、飛沫を避けるためにはフッ化物洗口を実施することは無理であると判断しました。このため、今年度中の実施開始はしないこととしました。
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和2年度の予定は、5月頃から開始することになっていました。しかしながら新型コロナウイルス感染症にかかる対応で、飛沫を避けるためにはフッ化物洗口を実施することは無理であると判断しました。このため、今年度中の実施開始はしないこととしました。今後も、各学校と十分に協議しながら、その実施について検討していきます。	A B <b>C</b> D
------------	--	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	4	食育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	学校における食育の推進
内容	<p>望ましい食習慣の形成には幼少期からの規則正しい食生活が重要です。しかしライフスタイルの多様化により、家庭だけで望ましい食習慣を身につけることは困難となっています。</p> <p>家庭の次に多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校での食育を充実させ、家庭・地域との連携を図りながら、地産地消を取り入れた給食の提供や偏食の減少などの推進に力を入れ、望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p> <p>また、教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を充実させ、児童生徒が給食の献立作成をする体験や食について学ぶ機会を増やしていきます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	毎日朝食を食べる児童生徒の割合
実績値(平成30年度)	小学校5年83.5% 中学校2年84.8%
数値目標(令和2年度)	小学校5年84.0% 中学校2年85.3%
数値目標(令和6年度)	小学校5年86% 中学校2年86%

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>各校において、日々の食育指導や、『保健だより』『食育だより』等による保護者啓発をおこなっています。朝食摂取状況調査(6月)では、毎日朝食を食べる児童生徒の割合が、小学校5年では、昨年度82.2%でしたが、今年度は、83.4%と、1.2%増加しました。しかし、中学校2年では、昨年度80.6%でしたが、今年度は、72.3%と8.3%減少しました。調査が、休校明けということもあり、生活リズムが整っていなかった可能性があります。</p>
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>給食センターの栄養教諭が各校をまわり、朝食摂取の大切さについて指導をしました。健康政策課主催の『100日チャレンジ』事業への参加を促し、市内の児童472人が申込をして取り組みました。中学生については、目標値より減少したため、学級活動や家庭科等を通じて、引き続き、朝食摂取の大切さや自分で簡単な朝食が作れるように指導していきます。</p>	A (B) C D
------------	---	-----------



## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	4	食育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	学校における食育の推進
内容	<p>望ましい食習慣の形成には幼少期からの規則正しい食生活が重要です。しかしライフスタイルの多様化により、家庭だけで望ましい食習慣を身につけることは困難となっています。</p> <p>家庭の次に多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校での食育を充実させ、家庭・地域との連携を図りながら、地産地消を取り入れた給食の提供や偏食の減少などの推進に力を入れ、望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p> <p>また、教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を充実させ、児童生徒が給食の献立作成をする体験や食について学ぶ機会を増やしていきます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	ふれあい食育教室の実施
実績値(平成30年度)	9校
数値目標(令和2年度)	10校
数値目標(令和6年度)	13校

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>令和2年度当初の予定では食育教室を実施することとしていました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策について、校長会等で協議を重ねていましたが、各校では当面、授業での調理実習を中止しました。コロナ禍において、外部講師を招いての食育教室を実施することは難しいと判断したため、今年度の実施は中止しました。</p>
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、外部講師を招いてのふれあい食育教室については、中止しました。その代わりに、給食センターの栄養教諭が希望校へ食に関する指導を実施しました。来年度は、コロナ禍において、感染対策を講じて、食育教室が実施できるようにしていきます。</p>	A B C <b>Ⓓ</b>
------------	--	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	1	特別支援教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	インクルーシブ教育を実現するための特別支援教育体制整備
内容	<p>合理的配慮の決定・合意形成のためにアセスメントの充実を図り、インクルーシブ教育システムの構築に向けて基礎的環境の整備に努めます。巡回相談を活用し、個に応じた適切な就学支援を進めるとともに、巡回相談担当者会議や湖南省専門家チーム会議※で、より専門的な立場からの検討や医療的な助言を得られるようにします。</p> <p>子どもたち一人ひとりの特性や障がいの状況・程度などを的確にとらえた「個別の指導計画」を作成し、その能力を最大限に伸ばすよう努めます。</p> <p>また、「湖南省発達支援システム」を活用しながら関係機関と連携し、子どもが自立し社会参加できる力を一層高めます。</p> <p>保護者・本人との合意形成を図りながら合理的配慮を提供できるよう、保護者への個別の指導計画の提供を行い、活用を図ります。</p> <p>子どもの教育的ニーズに最も応えられる学びの場を検討する、就学支援委員会の取組を継続して行います。</p> <p>また、通常の学級・特別支援学級における支援のあり方を視点とする授業改善を推進し、一人ひとりの学力の向上に努めます。</p>
具体施策	湖南省ことばの教室の運営
内容	<p>各中学校区に「ことばの教室」を設置しており、アセスメントに基づいた個別の指導を実施します。</p> <p>また、一人ひとりの教育的ニーズを受け止めることができるよう、各中学校区に設置されている通級指導※教室においても、通級指導と相談支援の充実を図ります。</p> <p>湖南省発達支援ITネットワークを活用し、指導記録を蓄積するとともに、園・学校訪問による、関係機関と校園との連携強化に努めます。加えて、市内の保育・教育関係者を対象として研修会を開催し、市内全体の特別支援教育の質の向上を図ります。</p> <p>市内小学1、2年生に読み書きチェックを実施し、その結果や支援についての情報を各小学校に提供することで、読み書きの力を高める取組を進めます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	通級指導教室通級生の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率
実績値(平成30年度)	令和2年度より実施
数値目標(令和2年度)	通級指導教室通級生(小学校6年生)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
数値目標(令和6年度)	100.0%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休校中も、ことばの教室では希望者の通級や教育相談を継続して実施し、必要な支援を行いました。</li> <li>・巡回相談担当者会議や専門家チーム会議を感染対策を取りながら実施し、ケース検討等を行いました。専門性を生かした助言を学校にフィードバックすることが特別支援教育の推進につながりました。</li> <li>・ことばの教室通級生(小学6年生)の教育支援計画作成について、校長会やことばの教室連絡会において依頼・説明し、作成に向けての準備を進めました。</li> </ul>
-------------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から新たにことばの教室通級生の個別の教育支援計画作成に取り掛かりました。今年度は小学校6年生分を作成し、中学校に引き継ぐことができました。次年度から順次作成学年を増やしていきます。</li> <li>・コロナ禍にあっても、感染症対策を取りながら巡回相談担当者会議や湖南市専門家チーム会議を実施し、そこで得た専門的な立場からの助言を学校にフィードバックすることができました。</li> </ul>	<p>A (B) C D</p>
-------------------	--	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	2	児童生徒への支援・相談体制の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	いじめの未然防止・早期発見・早期対応
内容	<p>「湖南省いじめ問題対策連絡協議会等条例」および「湖南省いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。</p> <p>いじめや命の大切さについて考える取組「湖南省いじめをなくそうサミット※」は、保護者の参加を得て充実してきました。各校で児童生徒が主体となった特色ある活動を展開することにより、一人ひとりが「いじめはいけない」と認識し、進んで行動しようとする決意をもった児童生徒を育てます。</p> <p>また、自尊感情の向上のために「地域の行事への積極的な参加」を呼びかけ、地域とともに子どもを育てる取組を進めています。今後は、各学校で子どもたち自身が命の大切さを自覚し、青春祭(あおはるさい)※などの場を活用したり地域にも発信したりすることを通して、いじめをなくすための行動を起こせるよう取組を工夫します。</p>
具体施策	さまざまな今日的教育課題への対応
内容	<p>不登校数の減少に向けた取組として、市の巡回相談システムなどを利用し、迅速かつ丁寧な対応をしていきます。ケースによっては「ふれあい教育相談室」での指導を依頼し、教室復帰に向けた取組を行っていきます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
実績値(平成30年度)	小学校6校 全中学校4校
数値目標(令和2年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためいじめをなくそうサミットは中止となりましたが、各学校でいじめや命の大切さについて考える取組を進めています。</li> <li>・休校中も、必要に応じてふれあい教育相談室の通級や相談業務、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣を継続して行い、個に応じたケアを進めました。</li> </ul>
-------------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、スクールソーシャルワーカーおよびスクールカウンセラーを全小中学校に配置しました。</li> <li>・不登校の課題について、それぞれのケースに応じた関係機関(巡回相談、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、発達支援室、家庭児童相談室、子ども家庭総合センター等)との連携に重点を置いた取組を進めました。</li> <li>・中止となった「いじめをなくそうサミット」に代わり、各学校での取組を進めました。</li> </ul>	<p>A (B) C D</p>
-------------------	---	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	2	児童生徒への支援・相談体制の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	いじめの未然防止・早期発見・早期対応
内容	<p>「湖南省いじめ問題対策連絡協議会等条例」および「湖南省いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。</p> <p>いじめや命の大切さについて考える取組「湖南省いじめをなくそうサミット※」は、保護者の参加を得て充実してきました。各校で児童生徒が主体となった特色ある活動を展開することにより、一人ひとりが「いじめはいけない」と認識し、進んで行動しようとする決意をもった児童生徒を育てます。</p> <p>また、自尊感情の向上のために「地域の行事への積極的な参加」を呼びかけ、地域とともに子どもを育てる取組を進めています。今後は、各学校で子どもたち自身が命の大切さを自覚し、青春祭(あおはるさい)※などの場を活用したり地域にも発信したりすることを通して、いじめをなくすための行動を起こせるよう取組を工夫します。</p>
具体施策	さまざまな今日的教育課題への対応
内容	<p>不登校数の減少に向けた取組として、市の巡回相談システムなどを利用し、迅速かつ丁寧な対応をしていきます。ケースによっては「ふれあい教育相談室」での指導を依頼し、教室復帰に向けた取組を行っていきます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	不登校児童生徒の関係機関との連携率
実績値(平成30年度)	小学校65.3% 中学校83.4%
数値目標(令和2年度)	小学校75.0% 中学校83.4%
数値目標(令和6年度)	小・中学校85%以上

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休校が続いたため、学校から新規で巡回相談につながってくるケースが9月時点では昨年度と比べて少ない。                  ・これまでから関係機関と連携して支援にあたっているケースについては、休校中も支援会議を開催したり、ことばの教室やふれあい教育相談室の通級を受け入れたりするなど、支援を継続して行いました。</p>
-------------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>・今年度の不登校児童生徒の関係機関との連携率は中学校85.2%、小学校90.0%でした。(1、2月に連続して7日以上欠席した児童生徒のうち、関係機関等と連携して支援している事例の率)                  ・毎月、不登校ネット会議兼巡回相談担当者会議において各ケースについての支援状況について確認し、関係機関が連携した取組を進めています。</p>	<p>A (B) C D</p>
-------------------	--	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	6	就学前教育の充実
施策	1	一人ひとりの育ちに応じた幼児教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携(再掲)
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保していき、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	乳幼児向け図書の充実
内容	図書館ではそれぞれの年齢の児童に向けた幅広い分野の資料を収集、整理、提供しています。また、母子保健担当部局が行っているブックスタート事業に協力し、4か月児健診時に保護者に対して本の大切さを伝えるとともに、誰もが本に触れることができる環境づくりに努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	保幼小連携教育研修会の参加者数
実績値(平成30年度)	0人
数値目標(令和2年度)	0人(今年度は開催予定なし)
数値目標(令和6年度)	26人



4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期から就学期へのスムーズな移行につなげるため、ことばの教室の園訪問、就学支援に係る園訪問等を実施し、園児の観察や支援についての助言を行っています。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた保幼小連携教育研修会が中止となりました。</li> </ul>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小中学校においてスクールソーシャルワーカーの活用促進のための学校訪問を実施しました。</li> <li>・コロナ禍において、各学校にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の活用推進を市教委から各小中学校へ呼びかけました。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを全校配置し、連携の強化を図りました。</li> </ul>	<p>A (B) C D</p>
-------------------	---	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 図書館

## 1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	6	就学前教育の充実
施策	1	一人ひとりの育ちに応じた幼児教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携(再掲)
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保していき、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	乳幼児向け図書の充実
内容	図書館ではそれぞれの年齢の児童に向けた幅広い分野の資料を収集、整理、提供しています。また、母子保健担当部局が行っているブックスタート事業に協力し、4か月児健診時に保護者に対して本の大切さを伝えるとともに、誰もが本に触れることができる環境づくりに努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	乳幼児向け絵本コーナーの設置
実績値(平成30年度)	2館に「はじめてであう絵本」コーナーの設置
数値目標(令和2年度)	継続
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>継続                  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため図書館での提供サービスの絞り込みを行っています。概ね30分間の図書館滞在という利用時間が制約された中で、小さなお子さん向けの本を効率的に選んでいただけるとのことにもなっています。</p>
-------------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>継続                  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため図書館での提供サービスの絞り込みを行っています。概ね30分間の図書館滞在という利用時間が制約された中で、小さなお子さん向けの本を効率的に選んでいただけるとのことにもなっています。</p>	<p>A (B) C D</p>
-------------------	--	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	1	地域と共に歩む学校づくりの推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	地域と共に歩む学校づくり
内容	本市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入し、両者の運動性と違いを明確に周知や融合を図りながら、家庭・地域の人々との協働と参画による学校づくりを進めています。 今後も、学校・家庭・地域が一体となって学校運営協議会(理事会)の設置の推進や子ども育ての課題の共有化を図ります。 また、新学習指導要領に示された「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を推進します。

## 3. 数値目標

内容(指標)	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の設置
実績値(平成30年度)	小学校7校 中学校3校
数値目標(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校 ※ただし、新設の小学校2校と中学校1校は一括設置につき最大2年間の設置協議期間としている
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	7小学校3中学校についてはすでに各校に学校運営協議会を設置済みです。 今年度、未設置の2小学校1中学校の一括した校区学校運営協議会の設置に向け、市コミュニティ・スクール推進協議会を設置し、基準日までに5回の協議会を開催した。設置のねらい、育てたい子ども像、組織構造図等を明確にしたうえで第6回からは準備委員会に移行し、開設に向け取り組む予定です。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	小学校9校 中学校4校 全10回のコミュニティ・スクール推進協議会を開催した。第6回からは設置準備委員会に移行し、設置のねらい、育てたい子ども像、組織構造を明らかにするとともに、地域住民への周知や発足時の体制づくりにも取り組みました。 設置申請が認められれば4月1日より甲西中学校区学校運営協議会が発足し、コミュニティ・スクールとして3校が地域とともにある学校づくりに取り組む予定です。	(A) B C D
------------	---	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	1	地域と共に歩む学校づくりの推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	地域と共に歩む学校づくり
内容	本市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入し、両者の運動性と違いを明確に周知や融合を図りながら、家庭・地域の人々との協働と参画による学校づくりを進めています。 今後も、学校・家庭・地域が一体となって学校運営協議会(理事会)の設置の推進や子ども育ての課題の共有化を図ります。 また、新学習指導要領に示された「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を推進します。

## 3. 数値目標

内容(指標)	地域学校協働本部事業の取り組み
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和2年度)	継続
数値目標(令和6年度)	継続

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	国、県補助事業である「地域学校協働活動推進事業」において各校に地域コーディネーターを配置し地域と学校との協働による教育力の向上を図っています。地域からは学校への教育支援活動が充実してきており、また学校の児童生徒たちが地域活動に参加・参画していくことで地域の活性化も貢献しています。ただ、今年度は年度当初から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学校の教育活動、また地域行事にも大きな制限が出ていることから実施された活動の範囲内のものとなっています。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	国・県補助事業である「地域学校協働活動推進事業」に地域学校協働本部が核となって地域に開かれ、地域とともにある学校づくりに取り組み成果をあげた。年度前半は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために事業に対する制限がありましたが、事業実施を前提にした対策の工夫により後半は概ね計画に近い事業を実施しました。ただ、高齢者が関わる事業については中止も含め慎重な対応をした。概ね計画通り目標通り事業を実施しました。	A (B) C D
------------	---	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	2	自立・協働・創造力を持つ子どもの育成

## 2. 具体施策の概要

具体施策	体験的活動の推進
内容	豊かな人間性、自ら学び・自ら考える力といった生きる力を育むため、「地域とのつながり」をキーワードにした多様な体験活動を展開します。コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の協力を得ながら、関係団体とも連携し、内容が濃く・質の高い体験活動の実施に努めます。また、各学校における体験活動のさらなる円滑な実施に向け、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部への支援を行います。

## 3. 数値目標

内容(指標)	—
実績値(平成30年度)	—
数値目標(令和2年度)	—
数値目標(令和6年度)	—

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	—
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	—	A B C D
------------	---	---------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	3	地域や地元企業との連携促進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	企業などの社会貢献活動の促進と学校教育環境の充実の好循環
内容	企業・事業所や団体による寄付行為などの学校応援の輪を拡大するとともに、学校教育環境のさらなる充実と企業・事業所や団体の社会貢献活動の推進の好循環を図るため、「学校教育きらめきサポーター事業」の取組を継続して推進します。

## 3. 数値目標

内容(指標)	学校教育きらめきサポーター事業認証事業所数
実績値(平成30年度)	3事業所
数値目標(令和2年度)	3事業所
数値目標(令和6年度)	5事業所

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	寄附の申請はあるものの、学校教育きらめきサポーターの申請は1事業所にとどまっています。地域や地元企業との連携促進に向けて、寄附の申し出のたびにPRしています。
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	寄附の申請はあるものの、学校教育きらめきサポーターの申請は2事業所にとどまりました。市長からの感謝状は多数の希望があるが、学校教育きらめきサポーターまでは希望されないとします。認知度を高めながら、地域や地元企業との連携促進に向けて、寄附の申し出のたびに継続してPRしています。	A B <b>C</b> D
------------	--	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課・図書館

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	1	多様な学習機会の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	地域に密着した学習機会の提供と人材の育成
内容	地域の課題解決や多様化する市民ニーズに応じた学習機会の充実と情報提供に努めるとともに、生涯学習の推進を図るため、地域にある身近な場所で主体的に学習活動が行えるよう、学びの場づくりを支援します。 また、地域の文化や学びの成果を活かして、市民が体系的に学び、力を発揮できる場や仕組みの検討、市民参画の場の充実と社会教育団体の育成支援に努めます。
具体施策	公立図書館の充実
内容	図書館がその機能を果たすためには、新鮮で魅力的な資料があること、資料を知り、資料と市民とを結ぶ職員がいることが大切です。市民のニーズを把握し、両図書館および移動図書館で、蔵書の充実を図ります。 施設内では、だれもが快適に利用できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したサービスの実施に取り組めます。 また、利用案内チラシやホームページを活用することで、図書館を利用していない人へのアプローチも図ります。 図書館に来館することが難しい市民に対しては平成30年11月に開設した電子図書館によって資料提供を図ります。また、地域資料のデジタル・アーカイブ化に向けて環境を整えます。 市民の生涯学習推進の拠点施設として、展示や講座、講演会などの集會行事を実施し、文化情報の発信をめざします。 地域との協働においては、展示・講演などの活動発表の機会の提供に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	図書館の年間新規利用登録者数
実績値(平成30年度)	793人
数値目標(令和2年度)	825人(昨年度実績×0.9)
数値目標(令和6年度)	893人



4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>567人                  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館、その後の限定的なサービス提供下の実績としては、想定値を上回りました。このままの推移としても、通年で今年度の数値目標は達成できる可能性が高いと思われます。比較的多くの方に新たに利用登録していただいた要素としては、移動図書館車のサービスステーションの増加による要素が大きいと思われます。これらの利用者をリピーターとして利用定着につなげていけるようにしていく工夫が必要となります。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>1,008人                  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館、その後の限定的なサービス提供下の実績としては、想定値を上回りました。比較的多くの方に新たに利用登録していただいた要素としては、移動図書館車のサービスステーションの増加による要素が大きいと思われます。これらの利用者をリピーターとして利用定着につなげていけるようにしていく工夫が必要となります。</p>	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	生涯学習課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	2	健康スポーツと生涯スポーツの推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	ライフステージに応じた体と心を癒すスポーツ機会の充実
内容	<p>自らがいつでもリラックスして行えるスポーツの推進や、障がいのある人や外国籍の人も気軽に参加できるイベントの提供、さらにはだれもがスポーツボランティアとして参画できる環境など、スポーツに携わるさまざまな機会づくりを推進します。</p> <p>また、親子や仲間でも気軽に参加できるスポーツ機会の充実や、女性指導者の育成、あるいは初めて参加する人にもできるスポーツの提供を推進するなど、積極的なスポーツ情報の発信に努めます。</p>
具体施策	いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実
内容	<p>地域や各種スポーツ団体、近隣の大学などの高度な人材やスポーツに関する幅広い知識の活用、各種スポーツ団体からの情報提供など、さまざまな資源を最大限に活かし、連携・協働して地域スポーツの活性化に取り組みます。</p> <p>また、令和6年(2024年)の滋賀国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会も視野に入れ、指導者の育成や一貫教育体制、大学などと連携した現役アスリートからの指導によるジュニア・アスリートの育成を推進します。</p> <p>施設面では、安全でだれもが利用しやすい社会体育施設の環境整備をめざし、効率的な利用促進や計画的な施設改修に努めます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	成人の週1回以上のスポーツ実施率(湖南省民の運動・スポーツ活動と地域生活に関する実態調査による)
実績値(平成30年度)	39.90%
数値目標(令和2年度)	今年度は湖南省民の運動・スポーツ活動と地域生活に関する実態調査を実施しない
数値目標(令和6年度)	42.5%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>月に2回体育館を開放し、申込不要で体育館が利用でき、自由にスポーツを楽しんでいただくKONANスポーツデーを開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、中止となっています。市民のみなさんに健康に関心を持っていただき、コロナ過でも3密を回避しながらできる取り組みを行うため、スポーツ推進委員のスキルアップを行い、市内の感染状況を見ながら、実施できる日程と事業内容を摸索していきます。</p>
-------------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況を鑑み、今年度はKONANスポーツデーを実施をせず、代替え事業としてスポーツ推進委員のボトムアップ研修を実施しています。年度末までに累計6回を実施予定。研修を実施しながらニュースポーツルールについて台帳の整備とコロナ禍における対策について協議をしています。来年度については、今後の状況を見ながらスポーツデーの再開に向けて検討していきます。</p>	<p>A B <input checked="" type="radio"/> C D</p>
-------------------	---	---

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	2	健康スポーツと生涯スポーツの推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	ライフステージに応じた体と心を癒すスポーツ機会の充実
内容	<p>自らがいつでもリラックスして行えるスポーツの推進や、障がいのある人や外国籍の人も気軽に参加できるイベントの提供、さらにはだれもがスポーツボランティアとして参画できる環境など、スポーツに携わるさまざまな機会づくりを推進します。</p> <p>また、親子や仲間でも気軽に参加できるスポーツ機会の充実や、女性指導者の育成、あるいは初めて参加する人にもできるスポーツの提供を推進するなど、積極的なスポーツ情報の発信に努めます。</p>
具体施策	いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実
内容	<p>地域や各種スポーツ団体、近隣の大学などの高度な人材やスポーツに関する幅広い知識の活用、各種スポーツ団体からの情報提供など、さまざまな資源を最大限に活かし、連携・協働して地域スポーツの活性化に取り組めます。</p> <p>また、令和6年(2024年)の滋賀国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会も視野に入れ、指導者の育成や一貫教育体制、大学などと連携した現役アスリートからの指導によるジュニア・アスリートの育成を推進します。</p> <p>施設面では、安全でだれもが利用しやすい社会体育施設の環境整備をめざし、効率的な利用促進や計画的な施設改修に努めます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	湖南省スポーツフェスティバルの参加人数
実績値(平成30年度)	888人
数値目標(令和2年度)	中止 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
数値目標(令和6年度)	1,000人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染対策により中止となりましたが、来年度の実施に向けて内容を検討する必要があります。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	3密の回避・消毒対策を踏まえながら従来とは異なった体制での開催を検討していきます。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	---	--

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	3	地域の歴史文化の保存と活用

## 2. 具体施策の概要

具体施策	歴史文化と地域文化の保存と活用
内容	市内の有形無形の文化財を次世代に継承していくため、保存と活用に関する基本的な方針を定めるとともに、関係機関と連携し、文化財などの保存・活用方法について検討する体制づくりに取り組みます。また市民が地域の歴史や文化を学び、親しむ機会の充実に努めます。魅力ある郷土の歴史や伝統文化を広く発信するとともに、これらの記された図書や資料の収集に努め、図書館などにおいて、保存・提供を行います。

## 3. 数値目標

内容(指標)	歴史・文化財教室、講座などの参加人数
実績値(平成30年度)	244人
数値目標(令和2年度)	80人(15人×4回) 文化財講座については、新型コロナウイルス感染症対策を万全にする必要があるため少人数での開催にするため、増加は見込めない。
数値目標(令和6年度)	250人

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染対策により実施ができていない状況ですが、新しい受講者層を取り込むため、内容を検討する必要があります。
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染対策により、講座の実施を取りやめましたが、農林保全課主催の全国植樹祭関連事業におけるウツクシマツの歴史を学ぶ教室に協力しました。次年度については、滋賀県文化財保護課主催の講座におけるサテライト会場の応募や現地での開催を検討します。	A B <input checked="" type="radio"/> D
------------	--	--

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	3	地域の歴史文化の保存と活用

## 2. 具体施策の概要

具体施策	歴史文化と地域文化の保存と活用
内容	市内の有形無形の文化財を次世代に継承していくため、保存と活用に関する基本的な方針を定めるとともに、関係機関と連携し、文化財などの保存・活用方法について検討する体制づくりに取り組みます。また市民が地域の歴史や文化を学び、親しむ機会の充実に努めます。魅力ある郷土の歴史や伝統文化を広く発信するとともに、これらの記された図書や資料の収集に努め、図書館などにおいて、保存・提供を行います。

## 3. 数値目標

内容(指標)	東海道石部宿歴史民俗資料館の入場者数
実績値(平成30年度)	1,200人
数値目標(令和2年度)	1,250人
数値目標(令和6年度)	1,300人

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	今年度も市内小学校3年生の受け入れをしました。また、9月20日から10月18日までお城EXPOin 滋賀のチケット半券掲示で団体割引を適用、11月14日、15日は関西文化の日に参加し無料開放をする予定です。その時期に合わせて特集展示も実施する予定です。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	資料館の入場者数は、1月末現在で934人でした。また、今年も市内小学校3年生の見学を受け入れ、案内をしました。関西文化の日の無料開放については、36人の入場者がありました。そのほか、毎日新聞「名品手鑑Ⅱ」で資料館の展示品の紹介原稿作成、甲賀フリモや中日新聞関係のびわこ新聞における資料館紹介に取材協力をしました。	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	4	新たな市民文化が育つ環境の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	市民との協働、市民への支援による文化の振興
内容	市民との協働や、市民主体の文化芸術事業の継続開催と内容の充実を図るとともに、市民による文化芸術を支援し、発表や参加の機会の拡充に努めます。 また、文化振興につながる情報提供に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	文化振興条例の策定
実績値(平成30年度)	未策定
数値目標(令和2年度)	条例策定のため数値目標はたてられないが、策定に向けて県や他市の情報を収集する。
数値目標(令和6年度)	策定

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	県内で文化振興条例が策定されている事例(草津市)は少ないですが、滋賀県が文化芸術振興基本方針(第3次)を策定予定であり意見照会がありました。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	滋賀県の文化公演支援事業(県内文化施設で公演をする者に県が施設使用料の1/2を補助する事業)に参加しました。また、来年度県が実施する障がいの有無にかかわらず誰もが参加できる文化芸術事業「文化芸術×共生社会プロジェクト」実行委員についての参画を検討します。	A ⊕ C D
------------	---	---------



## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	4	新たな市民文化が育つ環境の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	市民との協働、市民への支援による文化の振興
内容	市民との協働や、市民主体の文化芸術事業の継続開催と内容の充実を図るとともに、市民による文化芸術を支援し、発表や参加の機会の拡充に努めます。 また、文化振興につながる情報提供に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	市文化祭への出品数・出演者数
実績値(平成30年度)	450点・445人
数値目標(令和2年度)	開催中止
数値目標(令和6年度)	460点・450人

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	今年度は中止が決定しましたが、文化の振興発展および市民の文化芸術の発表や参加の機会の拡充のために、新しい生活様式に合わせた文化祭のありかたを検討する必要があります。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度は中止が決定しましたが、文化ホールの企画・提案事業として文化協会加入サークルや市民の発表の場としてのカルチャーステージの開催がありました。	A ⊕ C D
------------	--	---------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	4	新たな市民文化が育つ環境の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	市民との協働、市民への支援による文化の振興
内容	市民との協働や、市民主体の文化芸術事業の継続開催と内容の充実を図るとともに、市民による文化芸術を支援し、発表や参加の機会の拡充に努めます。 また、文化振興につながる情報提供に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	市美術展への出品数
実績値(平成30年度)	281点
数値目標(令和2年度)	200点
数値目標(令和6年度)	290点

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	9月2日に第1回目の実行委員会を開催し、2月15日から21日までの期間で実施することが決まっています。今後は募集要項等を作成し、作品募集の準備を進めていきます。写真の部の実行委員の引き受け手が決まっていないので、他の部の実行委員に協力してもらう必要があることと、新しい生活様式にあわせた美術展のありかたを検討する必要があります。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	美術展は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら予定通り実施しました。出品点数は、一般出品数167点、特別出品19点の合計186点で、昨年度の181点より少し増えました。 令和元年度から一人当たりの出展数をそれまでの2点から1点に変更しましたが、コロナ禍にありながらもほぼ目標通りの取組ができました。	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	5	人権意識の向上

## 2. 具体施策の概要

具体施策	関係団体との連携・協働による市民への啓発活動の推進
内容	市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神を日常生活に活かせるよう、さまざまな場で人権について考える機会を設けます。また各種団体と連携し、人権尊重の精神にあふれたまちづくりを進めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	出会い・気づき・発見講座や保護者講座の参加者のアンケートで「大変良かった」、「良かった」と回答した人の割合
実績値(平成30年度)	88.00%
数値目標(令和2年度)	88.50%
数値目標(令和6年度)	90.0%

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	コロナウイルス感染症拡大防止のため保護者講座は中止しました。出会い・気づき・発見講座は開催に向けて計画中です。
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	コロナ禍のなか、感染予防対策や開催方法を検討し年7回の講座を開催しました。 参加者は合計246名で、アンケート提出は139名。「大変良かった」、「良かった」と回答した人数は122名、割合は87.8%と目標数値より若干低くなりました。 来年度以降は、市民ニーズをより一層把握し満足度の高い講座となるよう努めていきます。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	--	--

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	5	人権意識の向上

## 2. 具体施策の概要

具体施策	関係団体との連携・協働による市民への啓発活動の推進
内容	市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神を日常生活に活かせるよう、さまざまな場で人権について考える機会を設けます。また各種団体と連携し、人権尊重の精神にあふれたまちづくりを進めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	人権まちづくり懇談会で人権について話し合い、学ぶ活動への市民の参加人数
実績値(平成30年度)	1,648人
数値目標(令和2年度)	1,700人
数値目標(令和6年度)	1,800人

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	役員向け説明会を開催(5か所)し、各区での開催を依頼した。現在、8か所で開催され、114名の参加がありました。コロナ禍の中で少人数での開催を呼びかけています。
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内43区で年2回の開催を例年どおりお願いし、コロナ禍のなか各区においては感染予防対策や開催方法を検討し取り組んでいただいたが、感染拡大などの状況により少人数での開催や計画変更も余儀なくされ、参加者合計869人と目標数値の半分程度の人数となりました。 来年度以降の新型コロナウイルスの感染状況が定かではないが、より多くの市民が参加できるよう、より一層の感染対策と課題の検討などを各区とともに進めていきます。	A B <b>C</b> D
------------	--	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	9	家庭の教育力を高める
施策	1	家庭の教育力の向上

## 2. 具体施策の概要

具体施策	ICTリテラシー教育の推進
内容	スマートフォンなど情報機器の正しい使い方が実践できる取組を、子どもたちへの実態調査・保護者への啓発と併せて実施し、「湖南省スマホ使用3ヶ条※」の浸透を図ります。また、PTA・学校・子どもとの連携を通じて、情報機器の「使用マナーの意識化、使用のルールづくり」をさらに進めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	教職員を対象としたICTリテラシー講座の開催
実績値(平成30年度)	小学校4校 中学校2校
数値目標(令和2年度)	小学校6校 中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月30日現在、予定していた教職員、児童生徒対象の講座を延期や中止している学校があります。(小学校3校、中学校3校が実施済)
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	警察や電話会社等を外部講師に招いての特別講座を全ての小中学校で実施できました。	A (B) C D
------------	---	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	9	家庭の教育力を高める
施策	2	家庭教育を支援する人材育成

## 2. 具体施策の概要

具体施策	親育ての場の提供と人材の育成
内容	各家庭で、親の自主的な判断に基づき家庭教育が行われるためには、子育てに関する親の不安や悩みを解消する場が必要なことから、悩みを抱える親が相談できる場づくりの充実に努めます。また、関係機関と連携し、子育てに関する学習機会や情報の提供に努めます。 さらに、社会全体で家庭教育を支える必要性が高まっていることから、助言や指導を行えるよう人材の育成に努めます。また、地域全体で子育てに対する意識の向上と輪の拡大に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	家庭教育講座の参加人数
実績値(平成30年度)	102人
数値目標(令和2年度)	60人(15人×4回) ※新型コロナウイルス感染防止対策により、施設の収容人数を半数にしているため、参加人数が限られます。
数値目標(令和6年度)	110人

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	当初の計画では夏休みに実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、秋に実施します。情報誌およびHPへの掲載、市内幼稚園・保育園へのチラシ配布で周知し、10月1日から募集を開始します。15家族×4回で募集する予定です。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで、11月に講座を4回実施しました。コロナ禍であるため、当日に体調不良で参加を見合わせる方も多く、申込者55人に対し参加者は44人でした。参加者からは、「気づきや悩みの解消につながった」、「充実した時間だった」、「明日からの子育てに生かしたい」など前向きな感想が多く、家庭教育を支える一定の役割を果たしていると考えます。	A B <b>C</b> D
------------	--	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	1	青少年の交流と活動の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	青少年の体験活動の機会の充実と社会参加の促進
内容	各種青少年団体の育成支援と、青少年育成市民会議、学区民会議をはじめとする青少年に関わる各種団体への支援を通じて、体験活動の機会の充実に努めます。 また、青少年の活動の場がつけられるよう地域に働きかけを行い、子どもと地域住民との交流の機会を促進するとともに、青少年が社会や地域に参画する機会の提供に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	10代の青少年を対象とした事業の実施(「青春祭」など)
実績値(平成30年度)	実施
数値目標(令和2年度)	実施 ※今年度の「青春祭」は中止となりましたが、何らかの方法で啓発等を行う予定です。
数値目標(令和6年度)	継続

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	市内8学区民会議では、年度当初は昨年度実績(33件)と同様の計画を立てていましたが、新型コロナウイルス感染症防止対策により中止が相次ぎました。このコロナ禍においても、感染防止対策を講じたうえで、3学区民会議でのべ7件の体験事業を実施しました。今後は、市内の感染状況を見ながら、実施できる日程と事業内容を摸索していきます。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内8学区民会議では、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで、16件の体験事業が実施されました。また、青少年育成市民会議においては、若者育成支援強調月間(11月)に合わせて、広報誌「育み」を8,000部発行し、市内小中学校の児童生徒・教職員と各区(組回覧)に配布しました。コロナ禍であっても、青少年が社会や地域とつながる方法を摸索し、実施しました。	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	2	青少年健全育成活動の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	関係機関と連携した活動実施と、課題をもつ少年の対策・居場所づくり
内容	<p>青少年育成市民会議・学区民会議をはじめとして地域住民の協力を得ながら、青少年にふさわしい環境づくりのために、地域で子どもを守り育てる輪の拡大に努めます。</p> <p>また、関係機関と連携し巡回活動の実施を推進します。</p> <p>非行など課題のある少年については、生活改善や就学・就労対策を行う一方で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長をしていくために、カウンセリング機会を設けるなどの支援を行います。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	無職少年の就労のための企業訪問の実施回数
実績値(平成30年度)	12回
数値目標(令和2年度)	14回
数値目標(令和6年度)	20回

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>昨年度より継続支援していました少年2名に対して、一定の期間を定職に従事していることもあり、一旦支援終了としました。本年度支援している5名の少年については、支援企業の力を借りながら就労につなげたいと考えています。現在のところ支援機関の4団体との連携はとることができています。本年度は「コロナ」の影響で、支援企業等の訪問は控えていましたが、後期は目標回数を目指していきたいと考えています。</p>
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>年度後半もコロナ禍による企業内のクラスター発生もあり、企業への訪問を控えましたが、ただ、企業関係担当者との来所による懇談やチャンスワーク、ハローワークへの訪問に力を入れました。また、過去に就労支援をした少年のケアのための企業訪問、電話による本人の現状確認も行いました。仕事・就労相談にも力を入れ、来所による相談、電話による相談を含め129件の相談を受けています。これらにより、数値目標と同等の実績を得たと評価しています。</p>	A (B) C D
------------	---	-----------



## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

## 1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	2	青少年健全育成活動の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	関係機関と連携した活動実施と、課題をもつ少年の対策・居場所づくり
内容	<p>青少年育成市民会議・学区民会議をはじめとして地域住民の協力を得ながら、青少年にふさわしい環境づくりのために、地域で子どもを守り育てる輪の拡大に努めます。</p> <p>また、関係機関と連携し巡回活動の実施を推進します。</p> <p>非行など課題のある少年については、生活改善や就学・就労対策を行う一方で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長をしていくために、カウンセリング機会を設けるなどの支援を行います。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	課題をもつ少年や家族との専任カウンセラーによるカウンセリング回数
実績値(平成30年度)	週1回
数値目標(令和2年度)	週1回
数値目標(令和6年度)	継続

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>緊急事態宣言が発令されていた中においても、電話・メールでの相談窓口は開設しており、緊急の相談にカウンセラーが対応可能な体制にしていました。しかし、6月後半までは、相談者、来所少年とも低調であり、通常のカウンセリング回数には至っていません。7月以降は少年の来所回数も少しずつ回復してきていますので、カウンセリングの回数増加につなげていきたいと考えます。</p>
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>コロナ禍によって、年度前半は相談者も少なく、カウンセリング機会を設けることは難しい状況がありましたが、後半に向けて回復してきました。保護者や支援少年とのカウンセリングは、23回となりました。また、カウンセリングの活動だけではなく、少年センターに来所する支援少年たちへの声掛けも積極的に行いました。さらに、個別の支援検討やブロック会議などでも職員への指導に当たり、カウンセラーの経験と専門性を十分活用することができました。</p>	A (B) C D
------------	---	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的を実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	消防署と学校防災教育コーディネーターが連携して行うモデル型避難訓練校の実施校数
実績値(平成30年度)	小中学校0校
数値目標(令和2年度)	全て小中学校13校
数値目標(令和6年度)	全小中学校13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症防止のため、消防署員に来ていただいた避難訓練は9月30日現在、実施していません。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症防止のため、消防署員に来ていただいた避難訓練は実施せず、各校で訓練を実施しました。市教委安全担当が消防署と連携し、助言を受けたことを各校の安全担当に伝え、次年度の避難訓練の準備を進めることにつながりました。このコロナ禍にあってできる取組については十分にできました。	A (B) C D
------------	--	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的に行うことを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	地域まちづくり協議会や保護者と連携して行う訓練
実績値(平成30年度)	小学校2校
数値目標(令和2年度)	小学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等がある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症防止のため、9月30日現在地域まちづくり協議会や保護者と連携して行う訓練の実施はしていません。 通学路の安全点検は13校で実施済み。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症防止のため、保護者と連携しての引き渡し訓練については小学校2校での実施となりました。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	--	--

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的を実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	通学路など危険箇所の合同点検箇所(累積)
実績値(平成30年度)	116か所
数値目標(令和2年度)	188か所
数値目標(令和6年度)	380か所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>令和元年度通学路の合同点検を15か所実施済み。 令和2年度9月時点で26か所実施済み。 警察署と連携した交通安全教室は、新型コロナウイルス感染症防止のため今年度は実施していません。</p>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>甲賀警察署の職員にも同席してもらい、各校の生徒指導、安全担当と共に通学路の危険箇所や防災について協議する会議を3回ずつ設けました。 甲賀警察署や県と市の担当部署、おうみ通学路交通アドバイザー、各校担当者と連携して予定していた通学路の合同点検を実施することができました。 (令和2年度実績 157か所(累積))</p>	<p>A (B) C D</p>
-------------------	---	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的を実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	通学路など危険箇所の対策実施箇所(累積)
実績値(平成30年度)	55か所
数値目標(令和2年度)	82か所
数値目標(令和6年度)	116か所



4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>新型コロナウイルス感染症防止のため、警察署と連携した交通安全教室は、9月30日時点で実施はしていません。代わりに各校で、通学路の安全や自転車の乗り方について指導を行いました。</p> <p>令和元年度通学路など危険箇所の合同点検を15か所実施済しました。</p> <p>令和2年度9月時点で26か所で実施しました。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>各校の管理職や安全担当者が市教委安全担当や甲賀警察署の職員と情報共有して通学路の安全について点検や改善に向けて校内で協議を行いました。令和2年度行った26か所の合同点検のうち16か所で対策の実施ができました。(対策実施か所81か所(累積))</p>	A (B) C D
------------	---	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	2	開かれた学校づくりの推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	絶えず地域へ情報発信する取組
内容	<p>各校の活動の様子は、定期的な校報やホームページ、タウンメール、プレスリリースなどによって積極的に発信するように努めます。また、保護者懇談会や学校運営協議会などを通じて、学校の現状や今後の活動を広報していきます。さらに、学校公開や地域を交えて実施する行事など、子どもたちの様子を伝えていきます。</p> <p>学校評価としては、定期的に自己評価・学校関係者評価を継続しながら、客観的な視点でも学校の教育活動を評価できるように努めます。</p> <p>各校では、「滋賀教育の日」の活動に賛同し、学校公開の場を設定しています。児童生徒への教育について、保護者や地域住民とともに考える場を継続して設けます。また、各校において新たな取組について模索します。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	学校公開日の実施校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和2年度)	継続
数値目標(令和6年度)	継続

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	<p>各校とも新型コロナウイルス感染症への対応等、ホームページ、校報、タウンメール等を通じて積極的に保護者や地域に向けて情報を発信してきました。また、CSの会議も開催しながら、修学旅行や運動会・体育祭、文化祭等の学校行事について保護者や地域の方々の意見も参考にしながら学校運営にたあたってきました。6月の学校再開以降、コロナへの対応を継続しながら学習活動や部活動も再開され徐々に日常の学校生活を取り戻しつつあります。1学期は、学校休業期間もあり学校からのプレスリリースの数がかなり少なくなりましたが、2学期は各校から積極的にプレスリリースがなされるようになっていきます。</p>
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>各校とも新型コロナウイルス感染症への対応等、ホームページ、校報、タウンメール等を通じて積極的に保護者や地域に向けて情報を発信してきました。また、CSの会議も開催しながら、修学旅行や運動会・体育祭、文化祭等の学校行事について保護者や地域の方々の意見も参考にしながら学校運営にたあたってきました。6月の学校再開以降、コロナへの対応を継続しながら学習活動や部活動も再開され徐々に日常の学校生活を取り戻しつつあります。1学期は、学校休業期間もあり学校からのプレスリリースの数がかなり少なくなりましたが、2学期は各校から積極的にプレスリリースがなされるようになっていきます。</p>	A (B) C D
------------	---	-----------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設の環境整備事業
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。
具体施策	効率的な施設改修の推進
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	学習用コンピュータ配備数
実績値(平成30年度)	8.52人に1台
数値目標(令和2年度)	3人に1台
数値目標(令和6年度)	3人に1台

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>国のGIGAスクール構想に基づき、補助金を活用して市内13校の校内LAN整備業務委託を6月24日に契約締結しました。2月28日の業務完了を目指して進めています。また、端末(学習用コンピュータ)についても、同じく国の補助金を活用し、令和2年度中に一人一台の整備を進めています。7月31日に県共同調達による総合評価方式一般競争入札で落札業者を選定、8月27日に仮契約、9月29日に本契約を締結したところです。2月28日の納期完了を目指して進めています。</p>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>市内13校の校内LAN整備業務は、当初予定していた2月28日業務完了よりも早く1月31日に業務完了することができました。また、端末(学習用コンピュータ)についても2月28日には市内13校の納品を完了し、一人一台の整備が完了しました。</p>	<p>(A) B C D</p>
-------------------	---	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設の環境整備事業
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。
具体施策	効率的な施設改修の推進
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	トイレ洋式化工事実施数
実績値(平成30年度)	0校
数値目標(令和2年度)	0校(3校の設計完了)
数値目標(令和6年度)	3校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	令和2年度にはトイレ洋式化率の低い3校(菩提寺小・三雲東小・日枝中)の設計業務に着手している。5月22日に指名競争入札により決定した落札業者と契約締結した。11月30日の業務完了を目指し、各校現地調査等の調整をし、業務を進めている。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	トイレ洋式化率の低い3校(菩提寺小・三雲東小・日枝中)の設計業務は、当初の予定とおり11月30日に完了した。令和3年度は工事着をおこなう予定である。	A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D <input type="radio"/>
------------	--	--

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設の環境整備事業
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。
具体施策	効率的な施設改修の推進
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	学校施設長寿命化計画の策定
実績値(平成30年度)	未策定
数値目標(令和2年度)	策定
数値目標(令和6年度)	策定

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>学校施設長寿命化計画は市全体の公共施設長寿命化計画の一部として作成に取り組んでいます。各校の老朽度調査および今後の整備計画の検討をおこない、9月30日には素案の作成ができています。</p>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>学校施設長寿命化計画は市全体の公共施設長寿命化計画の一部として作成に取り組んできました。3月をもって策定となりました。</p>	<p>A B C D</p>
-------------------	--	----------------



## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	2	学校給食の充実

## 2. 具体施策の概要

具体施策	学校給食の効率的な運営
内容	児童生徒に栄養バランスの採れた給食を提供するとともに、栄養士による食指導や調理内容の充実に取り組みます。 また、学校給食センターにおいて保育園・幼稚園・認定こども園、小学校低学年を対象にした見学会の開催や、卵アレルギー対応食の実施を引き続き行います。

## 3. 数値目標

内容(指標)	小中学校に提供する和え物献立の残食率
実績値(平成30年度)	小学校 10.6% 中学校 14.9%
数値目標(令和2年度)	小学校 10.6% (新型コロナウイルス対策として感染リスクを抑えるため、調理配送委託業者による残食の計量を中止しているため現状維持を目標とする。) 中学校 14.9%
数値目標(令和6年度)	小学校 10.4% 中学校 14.7%

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス対策として児童生徒の密の状態を避けるため、一つの食缶にすべての献立の残食を入れることにしており、調理委託業者による残食の計量を中止しています。
------------	--

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	11月から残食の計量を再開。4か月間の平均で小学校月14.6%、中学校月22.4%で目標を達成することができませんでした。新型コロナウイルス対策で給食中は話をしないことなど、昨年度と比べ状況の変化が関係していると思われますが、2月の残食率は小学校10.6%、中学校17.4%と徐々に回復しつつあります。	A B <b>C</b> D
------------	---	----------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	1	教師力・組織的対応力アップへの取組

## 2. 具体施策の概要

具体施策	教員の資質と実践的指導力の向上
内容	<p>「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」をコンセプトに「教師力アップセミナー※」を夏季休業中に実施します。講師を務める教員は、得意分野で力を発揮できるだけでなく、自己の実践を整理・分析する機会をもつことができます。また、受講する者は身近にある優れた実践にふれるだけでなく、受講後も講師とつながることで積極的に授業実践を行うことができます。</p> <p>また、意欲と向上心をもった市内の若手、中堅教員対象の「湖南省現職アドバンス研修」を教員養成に実績のある東京学芸大学との連携で行います。ともに研修を受けることで、「授業力の向上」という同じ志をもつ仲間としてつながるだけでなく、学んだ授業改善の方策を自己の実践につなぐとともに、市内各校の研修成果を普及する一助となります。</p> <p>さらに、教員が学校や校種の枠を超えて、気軽に指導方法について相談できる「きょういくげんき塾」は、塾生のニーズに合わせてテーマを設定し、先輩教員からの助言を通して主体的に学び合える場とします。</p>
具体施策	組織対応と関係機関との連携強化
内容	<p>園・学校や関係機関が、子どもや家庭を支える仕組みづくりをめざすために社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行います。</p> <p>そのために、各課題に対して長期・短期目標、役割分担を明確にしたアセスメントを立て、無理や無駄のない運営に留意していきます。「アセスメントシート」、「湖南省発達支援ITネットワークの記録」を蓄積することにより、ケース担当者が替わっても支援体制を引き継いでいくシステムを確立していきます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	教員のニーズに合う多様な研修の開催(教師力アップセミナー)
実績値(平成30年度)	19講座
数値目標(令和2年度)	20講座
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>コロナ対応を徹底し14講座を実施しました。夏季休業期間が短かったこともあり中学校からは参加しにくい状況もありましたが、のべ約270名の参加がありました。選択研修のため、自分の希望する講座に参加し、積極的に学ぶ教職員の姿が見られました。研修後のアンケート結果より、どのセミナーも教職員にとって学びの多い満足できる研修会だったことがうかがえました。</p>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<p>コロナ対応を徹底し14講座を実施した。「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」のコンセプトに沿って開催ができました。夏季休業期間が短かったこともあり中学校からは参加しにくい状況もありましたが、のべ約270名の参加がありました。研修後のアンケートから、受講者の満足度も高かった。コロナ禍でしたが、ニーズに合わせた質の高い研修を行うことにより、受講者満足度も高かったため目標通りの取組ができたと考えます。</p>	<p>A (B) C D</p>
-------------------	--	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	1	教師力・組織的対応力アップへの取組

## 2. 具体施策の概要

具体施策	教員の資質と実践的指導力の向上
内容	<p>「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」をコンセプトに「教師力アップセミナー※」を夏季休業中に実施します。講師を務める教員は、得意分野で力を発揮できるだけでなく、自己の実践を整理・分析する機会をもつことができます。また、受講する者は身近にある優れた実践にふれるだけでなく、受講後も講師とつながることで積極的に授業実践を行うことができます。</p> <p>また、意欲と向上心をもった市内の若手、中堅教員対象の「湖南省現職アドバンス研修」を教員養成に実績のある東京学芸大学との連携で行います。ともに研修を受けることで、「授業力の向上」という同じ志をもつ仲間としてつながるだけでなく、学んだ授業改善の方策を自己の実践につなぐとともに、市内各校の研修成果を普及する一助となります。</p> <p>さらに、教員が学校や校種の枠を超えて、気軽に指導方法について相談できる「きょういくげんき塾」は、塾生のニーズに合わせてテーマを設定し、先輩教員からの助言を通して主体的に学び合える場とします。</p>
具体施策	組織対応と関係機関との連携強化
内容	<p>園・学校や関係機関が、子どもや家庭を支える仕組みづくりをめざすために社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行います。</p> <p>そのために、各課題に対して長期・短期目標、役割分担を明確にしたアセスメントを立て、無理や無駄のない運営に留意していきます。「アセスメントシート」、「湖南省発達支援ITネットワークの記録」を蓄積することにより、ケース担当者が替わっても支援体制を引き継いでいくシステムを確立していきます。</p>

## 3. 数値目標

内容(指標)	市教委から各小中学校へ関係機関の活用促進・連携強化に伴う指導・働きかけ
実績値(平成30年度)	年間2回×13校
数値目標(令和2年度)	年間2回×13校
数値目標(令和6年度)	年間3回×13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

<p>実施内容(進捗実績)</p>	<p>4月には、全小中学校においてスクールソーシャルワーカーの活用促進のための学校訪問を実施しました。休校中も必要に応じて社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行いました。</p>
-------------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

<p>実施内容(最終実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小中学校においてスクールソーシャルワーカーの活用促進のための学校訪問を実施しました。</li> <li>・コロナ禍において、各学校にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の活用推進を市教委から各小中学校へ呼びかけました。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを全校配置し、連携の強化を図りました。</li> </ul>	<p>A (B) C D</p>
-------------------	---	------------------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	2	教職員の働き方改革の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	教員の働き方改革の推進
内容	各学校において業務の見直しを進め、地域や保護者の理解を得ながら、教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。また、教育の質を高めるための働き方改革を進めるため、外部講師を招き教員、保護者を対象とした「働き方改革研修会」を実施、全国の事例を聞きながら現状の課題を共有し、教員の意識改革に取り組みます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	学校支援員の配置
実績値(平成30年度)	60人
数値目標(令和2年度)	69人
数値目標(令和6年度)	70人

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	配置人数は延べ76人で、県費負担教職員への任用替え等により、現在は61人となっています。人数は減っているが、当初予定の時数分の配置はできています。
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	当初の配置人数は、延べ76人で、県費負担教職員への任用替え等により途中減少しましたが、最終的には、ほぼ当初の人数を確保して配置することができました。学習アシスタントなど、次年度の県費負担教職員任用については、県より現時点でその計画は示されてはいませんが、今年度と同じような県費の任用が年度途中で行われることもあるかもしれません。人材の確保を図りながら、各校へ学習支援員の配置をすすめます。	A B C D
------------	--	---------

## 令和2年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

## 1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	2	教職員の働き方改革の推進

## 2. 具体施策の概要

具体施策	教員の働き方改革の推進
内容	各学校において業務の見直しを進め、地域や保護者の理解を得ながら、教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。また、教育の質を高めるための働き方改革を進めるため、外部講師を招き教員、保護者を対象とした「働き方改革研修会」を実施、全国の事例を聞きながら現状の課題を共有し、教員の意識改革に取り組みます。

## 3. 数値目標

内容(指標)	部活動指導員の配置
実績値(平成30年度)	4人
数値目標(令和2年度)	8人
数値目標(令和6年度)	8人

## 4. 進捗状況(9月30日現在)

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

実施内容(進捗実績)	各校2人の募集をしたが、応募0人の学校が1校。現在1人の学校が1校。2人配置できている学校は1校。週2日3時間で学校へ来てくださる方は、見つけることが非常に困難です。
------------	---

## 5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和2年度は、8名の配置予定のところ、体育系の部活動5名の配置に留まりました。今後は、体育系の部活動だけでなく、文科系の部活動においても部活動指導員の配置を進めたい。しかしながら、各校においては、人材の確保に大変苦勞している状況があり、学校での部活動の在り方を十分に理解していただいた指導者の確保をいかに進めていくか課題です。	A B <b>C</b> D
------------	---	----------------